



2017年度歴楽講座第1回

不戦の誓い新たに

千葉県北西部の軍用鉄道等の戦争遺跡



*東武鉄道からの藤ヶ谷飛行場への引込線跡（左）鉄道第二連隊営門跡（中）、工兵学校裏の境界標石（右上）
鉄道連隊の兵士（右下）

千葉県北西部に残る軍用鉄道跡は、廃線になっただけでなく、一部は今も使われている・・・

江戸川の京成電鉄の鉄橋を最初に架けたのは、実は鉄道連隊でした。

千葉県北西部には、千葉の椿森に陸軍鉄道第一連隊、津田沼に同第二連隊が設置され、演習線も千葉市、習志野市、船橋市、鎌ヶ谷市、松戸市・・・と敷設されました。演習線は戦後廃線になっただけでなく、一部跡地は新京成電鉄の路線にも使われています。今回、千葉県北西部の軍用鉄道等の戦争遺跡についてご紹介し、陸軍工兵学校と演習線、柏飛行場、藤ヶ谷飛行場への引込線などについても説明します。お楽しみに。



日時：5月28日（日）13時30分～15時30分

場所：柏中央公民館 5F 和室1・2・3

会場で陸軍鉄道連隊、工兵学校の資料展示有

講師：当会より

参加費（資料代込み）：会員100円、一般300円

予約不要、当日お越しくください

お問い合わせ：Mail: info@matsugasakijo.net 森まで

公民館に隣接して駐車場はありますが、有料です。



<鉄道連隊による江戸川架橋工事>

主催 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会